

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者就労支援					所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	116	計画事業名	障害者就労支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現					[事業開始] 平成16年度			
		[施策] 25 障害者の自立と社会参加の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	区市町村障害者就労支援事業実施要領					
	事業対象	直接の対象 : 一般就労を希望する区内在住の満15歳以上60歳未満の障害者の方 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	・職業生活や日常生活の相談により、障害者の就労を支援する。 ・障害者の就労意欲の向上、企業への啓発・職業開発を行い、障害者雇用を促進する。								
	事業内容 [H30年度]	松が谷福祉会館内の「台東区障害者就労支援室」にて実施。 ○就労相談・就職準備・職場開拓等 ○職場定着支援(実務支援、職務内容の調整、就職先企業との相談等) ○生活支援 ○広報・啓発活動、関係機関ネットワーク推進等 ○就労トレーニング事業 ○就労継続支援サービス更新時のアセスメント事業								
	委託の有無	全部委託		委託内容	相談業務を主体とする就労支援事業等					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	活動指標	登録者数		人	320	255	275	298	260	114.6%
		就労トレーニング延べ参加者数		人	200	201	215	180	300	60.0%
	成果指標	新規就労者数		人	35	36	29	31	20	155.0%
		就労継続者数		人	160	111	134	147	117	125.6%
	決算額 (単位:千円)					H28年度		H29年度		H30年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,350		2,095		3,086
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				27,200		28,550		26,038
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				187		204		0
		総経費				32,737		30,849		29,124
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				4,044		4,062		3,858	
	一般財源(区負担額)				28,693		26,787		25,266	
課題及び今後の進め方	障害者の就労ニーズと企業の人材ニーズのアンマッチが少なからず生じている。個人の障害の程度や特性に応じたきめ細かな就労相談とともに新たな職場開拓を進めていく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	登録者は増加しており、就労支援の需要と必要性は高い。職業生活に加え日常生活の支援を行うことも依然として需要が高く、今後も望まれている。							
	効率性	3	運営に係るコストや効率性に大きな変化はない。							
	手段の適切性	4	社会福祉法人つばさ福祉会に委託しており、その専門性を生かして効率的に運営されている。							
目的達成度	4	障害特性に応じた就労支援を行うことで新規就労者は増加した。また、採用後の生活面等での支援の実施により、就労継続者は年々増加傾向にある。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性			
登録者数や就労継続者は増加傾向にあり、新規就職へ向けた支援とともに就労継続者への支援の必要性も高まっている。今後も、受け入れ企業の開拓を進めるとともに、障害者の就労ニーズに応じて、きめ細かな就労相談や日常生活支援を行い、障害者の企業等への就職と就労の継続を図っていく。							維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	